

2. 令和7年度 トピックス

◆ 豊中市立図書館 80 周年

豊中市立図書館は、昭和 20 年 3 月に市役所内に併設されてから令和 7 年で 80 周年を迎えた。それを記念し、図書館に市民がより親しめるようさまざまな取り組みを展開した。

4 月から 6 月にかけて、4 館で作品展「乾千恵の書の絵本『月人石』の世界」をおこなった。展示期間中には、絵本に関連した音楽イベント（アンデスのフォルクローレ鑑賞会やインドネシアのガムランと人形芝居）も開催した。

10 月には、豊中市にゆかりのある作家・増山実さんを招き、講演会「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」を開催。また、北摂アーカイブスでは、講演会場を含め 8 館で写真巡回展をおこなった。

全館で記念缶バッジを配布したほか、岡町図書館エリアでは、地域の子どもたちが図書館に通うときに使えるようにと布バッグの寄付を受け、来館する子どもにプレゼントした。

◆ 動く図書館 75 周年

戦後まもない昭和 25 年、市内のすみずみまで本を届けようと車に本を積んで走り始めた動く図書館が、令和 7 年に 75 周年を迎えた。11 月～12 月の動く図書館では、これまでの歴史を振り返り、祝う記念行事を各ステーションで実施。令和 8 年 3 月には紙芝居等貸出用手提げ袋の 75 周年記念バージョンを 200 枚作成し、各図書館で利用者へ提供を始めた。そして次の 75 年に向け、未来の動く図書館を考えていくため、市民や図書館職員に向けて動く図書館に関するアンケートを実施した。また、図書館協議会に動く図書館について諮問するなど、多方面からご意見をいただいた。



昭和 26 年・桜井谷地区巡回風景



動く図書館 75 周年記念イベント



手提げ袋・75 周年記念バージョン

◆ 蛍池図書館リニューアルオープン



リニューアル後の蛍池図書館

蛍池図書館は、子育て世代がより使いやすい機能を備え、多世代交流機能を有した図書館として、令和 7 年 4 月 1 日リニューアルオープンした。

コンセプトは「だれもが居心地のよい図書館」。予約多数の人気の本などが読める閲覧専用図書コーナーや、飲食可能な読書スペース「ソラ」、自学自習可能な読書スペース「モノ」、靴を脱いでくつろいで本を楽しめるえほんスペース「はらっぱ」、授乳室、親子トイレを新設した。

リニューアルオープニングイベントとして、同志社大学名誉教授の廣田収さんによる講座「紫式部の世界にふれる 『源氏物語』と紫式部」や、市民団体「蛍池図書館を考える会」との共催で、蛍池で生まれた方・蛍池で活躍する方・蛍池が大好きな方たちをゲストに招いたトークライブ「…そして、集う、蛍池図書館で」(全 3 回)を開催。また、新しい館内を案内する「蛍池図書館ウェルカムツアー」も 1 週間にわたって実施、その後も申込みがあれば随時実施している。



第 1 回「…そして、集う、蛍池図書館で」

市民の好奇心の触発を目指し、月 1 回の読書イベント「ほっとブックミーツ」や、図書館が入居しているルシオーレビル内の店舗と連携しての資料展示・講座、地域の方や企業と連携してのイベント、休館日を利用した館内での撮影会など、年間を通して多様な取り組みを展開している。

2 月には、「一緒につくろう！蛍池図書館」を「蛍池図書館を考える会」と共催。リニューアル後の報告をおこなうとともに、市民から蛍池図書館に対する思いや感想、要望等を直接伺う機会とした。

リニューアルオープン前のプレ事業として実施していた社会教育課・蛍池公民館との連携講座は令和 7 年度も実施。前年度開催の講座のラインナップに加えて、コーヒーのドリップ・販売をおこなう人材を育成する講座を新たに開催、最終回では実際に蛍池図書館内でコーヒーを販売した。

これからも市民の声を聴き、地域や他課と連携しながら、だれもが居心地のよい図書館を目指していく。

◆ 北摂アーカイブス Library of the Year 2025 受賞

北摂アーカイブスは、「地域の記憶を 地域の記録へ…」というコンセプトのもと、平成 22 年 3 月に活動を開始した。図書館を事務局として、市民ボランティア「地域フォトエディター」が、北摂地域に散在する写真をはじめとする地域情報を収集・整理し、電子データとして保存。地域情報の百科事典のようなホームページを作り、公開してきた。活動開始から 15 年目を迎えた令和 7 年に、市民と行政が協働して継続してきた地域のデジタルアーカイブ活動が評価され、「Library of the Year 2025 ライブラリアンシップ賞」*を受賞した。



図書館総合展での表彰式



受賞トロフィーと表彰状

* これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して、NPO 法人 知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する賞。

◆ (仮称) 中央図書館の整備検討

(仮称) 中央図書館の整備は、計画地として阪急電鉄宝塚線曾根駅前の候補地を選定し、整備に係る基本協定締結に向けた民間事業者との協議をおこなってきた。協議の結果、当該事業者との協議を打ち切ることとし、令和 7 年 3 月議会で議決を受けた債務負担行為額を取り下げる議案を令和 7 年 12 月議会に提出した。(仮称) 中央図書館については、第二候補地である豊島公園での整備を検討することとした。